



http://kai-toshimitsu.com

こんにちは 我孫子市議会議員

かい俊光 です

No. 40
2013 夏
★活動ブログ毎日更新中!
事務所: 〒270-1143
我孫子市天王台4-3-11
TEL/FAX: 04-7183-6700
自宅: 青山台4-2-14

9月議会提出予定議案!!

7/21参議院我孫子選挙区選挙投票分析結果

9月2日から始まります我孫子市議会提出予定の主な議案・補正予算は以下のようになっています。

- 1、我孫子市職員の再任用に関する条例
- 2、我孫子市生活一時資金貸付基金の条例廃止
- 3、介護保険料、国民健康保険出産資金等の延滞金の利率を改正
- 4、我孫子市民体育館の65歳以上の団体使用料の改正
- 5、つくし野多目的運動広場についても上記同様
- 6、公共下水道布佐地区震災復旧工事委託に関する協定 5億6,5380千円
- 7、高規格救急自動車の取得 3,626万円
- 8、市道路線の認定(10路線)

<一般会計補正予算>

495,200千円増額 36,968,600千円に
9月度末で27億3720万円の財政調整基金

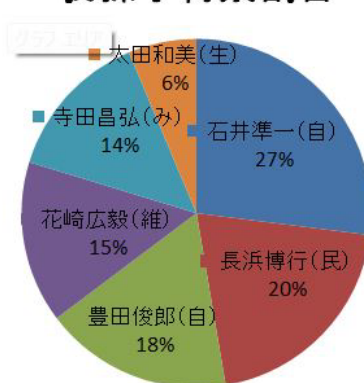
<主な歳出>

- ・骨髓移植ドナーの経済的負担減 20万円
- ・天王台さくら保育園施設整備費 2,855万円
- ・最終処分対策事業(チップ化した剪定枝木の埋立処分) 3,353万円
- ・農業振興対策費6次産業化チャレンジ支援事業312万円
- ・工業振興事務運営費(NEC事業所の敷地を買い取り用地取得費、整備費等の基本調査を実施する) 936万円
- ・放射能対策事業 850万円

	我孫子選挙区	県全体
当	石井準一(自)	14,069票 (680,706票)
当	長浜博行(民)	10,595票 (388,529票)
当	豊田俊郎(自)	9,062票 (418,806票)
	花崎広毅(維)	7,821票 (186,259票)
	寺田昌弘(み)	7,267票 (285,007票)
	太田和美(生)	3,291票 (148,240票)

・我孫子市は県全体の得票割合と違い、衆議院議員時代8区を地盤としていた長浜氏と、我孫子選挙区の前県議の花崎氏が若干得票割合を伸ばしているのが特徴です。自民やみんなは票が伸びませんでした。

我孫子得票割合



比例選

県内の党派別得票率

	個人票	党名票	合計
自民	159,816票	674,399票	834,215票 (34.16%)
民主	79,625票	238,367票	317,992票 (13.02%)
公明	248,992票	114,677票	363,669票 (14.89%)
みんな	23,701票	252,738票	276,439票 (11.32%)
共産	18,998票	213,501票	232,499票 (9.52%)
維新	37,174票	212,666票	249,840票 (10.23%)
社民	7,720票	33,780票	41,500票 (1.70%)

<市政一般報告>

■柏・手賀沼花火大会in手賀沼が8/3に開催されました。約24,500発もの多くの花火が手賀沼周辺の夜空を彩りました。これに合わせて我孫子市、議会、商工会が中心になって募金活動をし、目標270万のところ、337万円もの募金を集めることができました。募金活動にご協力いただきまして本当にありがとうございます。

■8/17、手賀沼公園にて、原爆投下から68周年を記念する我孫子市平和記念式典がありました。今回は我孫子市の予算を倍増して市内中学生12名が広島の式典に参加し、核兵器のない平和な生活を願って貴重な体験をしてきたようです。中学生の隣人を憎しみではなく仲良く感謝の気持ちで持って接しようという

メッセージが印象深い式典でした。

■我孫子市は8/2、東京電力福島第1原発事故の補償担当者を市役所に呼び、約2億4500万円の放射能対策経費を賠償するよう請求しました。内訳は、12年度分の放射能対策費約6億8200万円のうち、国の補助金などで充当された約4億6200万円を除く、ごみ焼却施設内放射線低減対策費や職員の人件費など約2億2000万円と2011年度分の東電への請求額(約4635万円)のうちで未払い分の約2547万円です。市は支払いの可否を8月末までに文書で回答するよう求めています。未払い金が2547万円あり、その上、2億2000万円の賠償を求めています。東電が誠意をもって対応していただけるのか、危惧しています。

「松戸駅前アートで街づくり」と「福祉でまちづくり」

松戸市が会長を務めます全国若手市議会議員の会千葉ブロック研修会で、「松戸駅前アートを核としたまちづくり」について株式会社まちづくりクリエイティブ 代取寺井元一氏の講演を聴いてきました。

■クリエイティブシティの原則:「マイナスをプラスに転換する」(廃墟の再生:横浜等)

<経緯>

渋谷、中目黒で活動してきたが、公共が規制を強めてきた→芸術家が移動

そこで、新しい活動拠点としてリサーチした結果、松戸に注目。とりあえず「MADシティ」という名前をつけて注目を集めよう。

<仕事>:不動産業、価値が0の場所のオーナーさんを探し出して借り上げてアーティストなどに貸そう。実際引っ越してきたのは約100人。(他にもコンサル)これまで:アートとまちとの関わり→成功例はほぼ観光

地(温泉地) →これを変えていこう。アートに「待たれる創造性や多様性を生かしていこう。

◎例:西口公園のイメージを変える。テープをクレーンから垂らす/壁の補修にアート描いてを民間に足場代などを出してもらう/かつてのラブホテルの空き部屋を海外のミュージシャン、アーティストが宿泊。

◎地元自治会や町会のメンバーを入れて、**松戸まちづくり会議**を開催して、アイデアを出し、地域とのつなぎ役をやる。

◎会社の役割として①人的空洞化への対策②産業的な育成③地域運営自体の事業化

◎成功の秘訣は、合意形成をしないで、時間をかけないで結果を出していくこと。文句をいうということはいいこと、かかわりたいという人が増えている。

<感想>衝突を恐れず、**小さな成功体験を積み重ねる事**の重要性を強調していたのが印象的。

「待ちの福祉から創る福祉へ

～福祉でまちづくりの時代の地域福祉～

関東若手市議会議員の会研修会にて、国際医療福祉大学の大石剛史先生から講義を受けました。

■「福祉の問題」から。

・全都道府県で2040年人口は今より下回り、65歳以上人口は都市部で増加する。65歳以上人口が40%を超える自治体は全体の半分に。

・年少+老年の従属人口は90年代に上昇
・知的障害者、精神障害者の高齢化が問題。
・児童虐待の増加は核家族化、近所のつきあいが少なく、女性の社会進出、子どもが安心できる場所がないといったストレスフルな生活等が原因
・地域社会が共同体→協同体、協働活動の時代へ

■これから<施設の福祉から地域の福祉へ移行>

在宅福祉サービスなどの地域福祉が必要。協働の活動分野を増加させる。行政が市民に受け入れてもらうように。

「どのような地域福祉が必要か？」

1、**地域分割横割リシステムへ！**

・縦割リシステムは広すぎて細かく対処できない。一部署で把握した情報が部署間で共有できていない。ex茅野市では地域福祉システムによって一人当たりの老人医療費が全国・県平均より大きく下回っている。

2、追われる福祉から「**先回りする福祉**」へ
→当事者のエンパワメントを可能とするために

・あるサービスがニーズを掘り起こすex iPod iPhoneが掘り起こしたニーズ
・サービスが充実していない状況では障害者当事者は在宅生活を諦めてしまい、施設から在宅への移行が起こらない。

■「今後の課題」

・まず地域福祉課題をみんなで共有
・地域福祉実践に必要なスキルを身につける
・定期的にわいわい話しながらできるところから手を着ける。コンサルティングに頼るのではなく、「やらさあ1000人衆」に。

<感想>後から福祉に予算を充てるではなく、先に隠れた福祉ニーズを掘り起こす意味を理解。

<一寸一言> ■第12回天王台ふれあい夏祭りが8/17に開催されました。このお祭りは天王台北口商店会、自治会、愛好会が三位一体となってバランスよく企画、運営しているところが特徴です。このお祭りによって地域住民の絆が深まり、地域の問題解決も図られ、顔見知りになることによる防犯対策にもなっています。市からの補助金も削られ非常に厳しい状況ですが、このお祭り



がこれからも続いていくように私も地元の一員として尽力させていただきたいと思います。

E-mail : info@kai-toshimitsu.com

twitter : @Kai_Toshimitsu

Facebook : 「甲斐俊光」(ページも公開中！)

1972年 7月23日 生まれ (楽観的なO型)

1995年:慶応義塾大学法学部政治学科卒業

1995年:ヤオハンジャパン(株)入社

2004年:衆議院議員桜田義孝公設秘書

2011年:我孫子市議会議員2期目当選

全国若手市議会議員の会千葉ブロック会長

◎趣味 : ランニング(フル3時間12分)読書(漫画も)

◎マイブーム : ラーメン食べ歩き、自転車、パソコン
家族:妻、息子(1歳)

・自民党我孫子市部広報部長/教育福祉常任委員/放射能対策特別委員/農業委員/隊友会特別会員/

☆『生き甲斐、やり甲斐、育て甲斐』